

街頭演説300回達成！

「月間東郷」通算12万部ありがとうございます

月間東郷

www.togotetsuya.com



発行元：東郷てつや後援会

〒463-0072  
名古屋市守山区金屋2-181

TEL & FAX 052-791-2229  
tztogo@ma4.jusutnet.ne.jp

2006年3月号 (No26)

この新聞はすべて手作りです。またボランティアの  
皆様による手配りです。ぜひお読みください。 <後援会資料>

# 地方分権幕開け～「三位一体の改革」

## 東郷てつやが新しい時代を拓く！

政府は、今年度予算より総額3兆2000億円の国庫補助金を廃止し、地方へ税財源移譲をすべきとし、今後18年度予算を審議する中で、「三位一体の改革」が本格的に議論されていくこととなります。

ところで、この「三位一体の改革」って一体何であろうか？簡単に説明すると、地方の権限と責任を大幅に拡大するために

- ①国庫補助負担金の改革
  - ②地方交付税の改革
  - ③税源移譲を含む税源配分の見直し
- 以上、三点セットとして同時に行なうこと。

その目的は、

- I 歳入歳出両面で地方の自由度を高める。
- II 地方自主権の確立
- III 国・地方を通じて簡素で効率的な行財政システムの構築 (小さな政府)

であります。また首相の諮問機関(地方制度調査会)において道州制の導入が検討され、これから地方分権の時代が本格的に始まります。

これらは明治時代の廃藩置県に匹敵する大改革といえますが、既得権を守るために官僚機構や地方議会の猛烈な抵抗があります。しかし、グローバル経済の中、広域化する諸課題に対応するため、国と地方の役割分担を明確にし、従来の縦割りでなく、新しい時代にふさわしい柔軟な統治のしくみをつくる必要があります。

地方分権というのが掛け声倒れのスローガンであってはなりません。「三位一体の改革」の本質は財政スキームの見直しであります。

今後、地方議会においても確実に改革の波が押し寄せてきますが、これまでの国からの予算を分捕るといった陳情・利益誘導型政治や、それらを単に分配するといった旧来型政治手法ではなく、議員個々の政策立案能力を高め、行政と議会のチェック・アンド・バランスが働くようにしなければなりません。

東郷 圭也



### 東郷てつやのProfile

- 昭和46年4月17日生まれ  
名古屋外国語大学卒(学生会長)  
ユネスコの外郭団体で国際平和教育活動を行う  
名古屋日中交流センター設立、理事長
- 衆議院議員秘書を経て  
平成15年名古屋市議会議員選挙(守山区)にて  
次点惜敗(6157票)  
現在、リベラル政策研究会代表
- 政治信条 正義感、責任感、有言実行
- 趣味 テニス、ゴルフ、サッカー、野球、旅行、書道
- 家族 妻、二児(6才と0才)

(H.17.7.現在)

再生紙使用:「環境」に取り組みます